



聴覚 集団補聴システム

Q. 会議や講演会等で会議室内の音声等がうまく聞き取れないときは？

A. 難聴等の方には、会議室内の音声伝わりやすくなる「**集団補聴システム**」(下記3種)があります！

- ▶ **ヒアリンググループ**…補聴器や専用トランスミッターで、周囲の騒音に邪魔されずに音声を伝えます。
- ▶ **FM補聴**…FM補聴器での使用が認められている周波数を利用し、広いエリアを混信することなく音声を伝えます。
- ▶ **赤外線補聴**…室内にラジエーターを設置することで、専用トランスミッターから高音質で音声を伝えます。

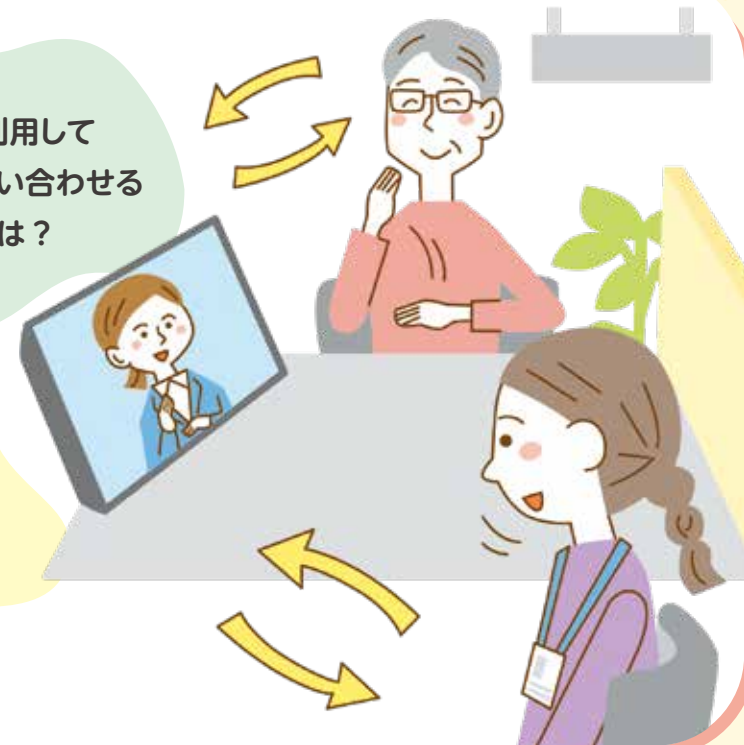


聴覚 遠隔手話サービス・電話代理支援サービス

Q. 手話を利用して区役所へ問い合わせる方法は？

A. 聴覚に障害がある等で電話が困難な方が自宅から区へ電話で問い合わせる場合は「**電話代理支援サービス**」を、区窓口では「**遠隔手話サービス**」を利用できます！

タブレット端末・スマートフォン等からコールセンターのオペレーターを介して、手話や文字を読み取り、音声で相手(区職員)に伝えます。



障害者の方との意思の疎通にはこんな方法があります！

各ツールについて詳しくは、お問い合わせください。
☎障害者福祉課福祉推進係 ☎(5273)4516・☎(3209)3441



視覚 ユニボイス

A. 視覚障害のある方には文字を読み上げてくれる「**ユニボイス**」があります！

Q. 自治体からの刊行物等の文字情報等を音声で聞きたいときは？

右下に半円状のカットが入った刊行物(左下図)には、各ページに二次元コード(ユニボイス)が付いており、専用アプリで読み上げます(アプリのダウンロードが必要)。



聴覚 ヨメテル

Q. 声が聞き取りにくい、電話を利用したいときは？

A. 相手の声が聞き取りにくい一般の電話を利用できない方には「**ヨメテル**」があります！

電話相手の返答を全て文字情報に変換してくれるので、画面上で声が読めます(アプリの登録が必要)。



聴覚 電話リレーサービス

Q. 手話を利用する方と電話をしたいときは？

A. ろう者の方と手話で電話をする際は「**電話リレーサービス**」があります！

スマートフォン等からコールセンターのオペレーターを介して、手話・文字・音声で電話を利用できます(利用契約が必要)。



12月3日～9日は 障害者週間

社会の中で提供されている設備やサービス等は、障害のある方には利用が難しく、活動を制限してしまうバリアになっていることがあります。障害のある方から「社会的なバリアを取り除いてほしい」という意思が示された場合は、できる範囲で、バリアを取り除くために必要な合理的配慮を行う必要があります。

☎障害者福祉課福祉推進係 ☎(5273)4516・☎(3209)3441

知的障害のある方を対象とした施設 //

新宿生活実習所(ぼれぼれ福祉園)は弁天町50に移転しました

障害者週間に合わせて イベント開催中！

障害のある方への理解を深めるため、さまざまな取り組み・催しを実施しています。
☎障害者福祉課事業指導係 ☎(5273)4253・☎(3209)3441



障害者作品展

☎12月8日(月)午後3時まで
☎四谷地域センター(内藤町87)
☎絵画、小物、絵本ほか

☆☆☆ わたしたちが描きました ☆☆☆

- どの色をどこに置か、自分で考えて決めました。
- 花火をバランスよく配置するのを頑張りました。
- 色味の調整などで、遠近感を出したのがポイントです。

- 遠藤里子さん 作品名「ひかり」
- 野本大作さん 作品名「夏の花火」
- 飯塚勝久さん 作品名「朝焼けの富士」



障害者理解啓発パネル展

☎12月10日(木)まで
☎区役所本庁舎1階ロビー
☎障害者週間に關するポスター・資料ほか



手づくりマーケット

区の障害者福祉施設が共同でパズルや作品展を開催します。